

グループヒアリングの実施について

今後、ニーズ調査の実施とは別に、就学前の子どもを持つ保護者の方を対象としたグループヒアリングの実施を予定しています。

■目的

ニーズ調査の結果だけを基に算定されたニーズ量は、実際の数値よりも大きく算出されることが予測されます。

各サービスの量の見込みについては、庁内での検討や子ども・子育て会議における検討により決定していくこととなりますが、保護者対象へのインタビュー形式のヒアリングを行うことにより、ニーズ調査の数値について検証します。

また同時に、下野市における子育て支援や保育・教育についての満足度や要望など、生の意見について聴取し、計画策定の基礎資料とします。

■対象（案）

- ・子育て支援センター利用の就園前児童保護者 20名程度
- ・幼稚園・保育園利用の就学前児童保護者 20名程度（保護者会などの会合時に実施）

例) ニーズ調査で、現状の供給量に対し、大幅に高い需要量が出たサービス（休日保育、病児・病後児保育など）について、具体的にどのような状況や条件なら利用するかなどについて、聞き取りを行い、ニーズ調査の回答との差違について、検証する。

■ヒアリングの具体的な内容（案）

手法	参加者	内容
グループインタビュー	司会者1名につき、対象者8～10名	司会者がテーマを提示し、対象者がディスカッションを行う。